

# 2024年 事業説明会

## ～長期ビジョン達成に向けた事業展開～

Business briefing presentation for the fiscal year ended September 2024

2024年12月20日

Circulate  
the possibilities



株式会社アサカ理研

証券コード：5724

## 1.会社紹介

## 2.長期ビジョン

## 3.LiB再生事業

# 1. 会社紹介

Circulate  
the possibilities

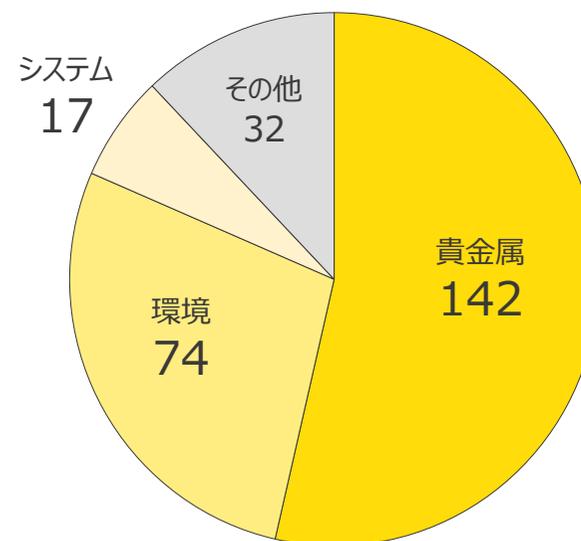
## 2024年9月期 業績サマリー



LiB再生事業への積極投資に伴う研究開発費の増加により、  
営業利益は前期比減益となるも、期初公表値を上回る利益を確保

売上高	<b>7,967</b> 百万円
前期	8,285百万円
営業利益	<b>293</b> 百万円
前期	395百万円
経常利益	<b>266</b> 百万円
前期	386百万円
純利益	<b>371</b> 百万円
前期	307百万円

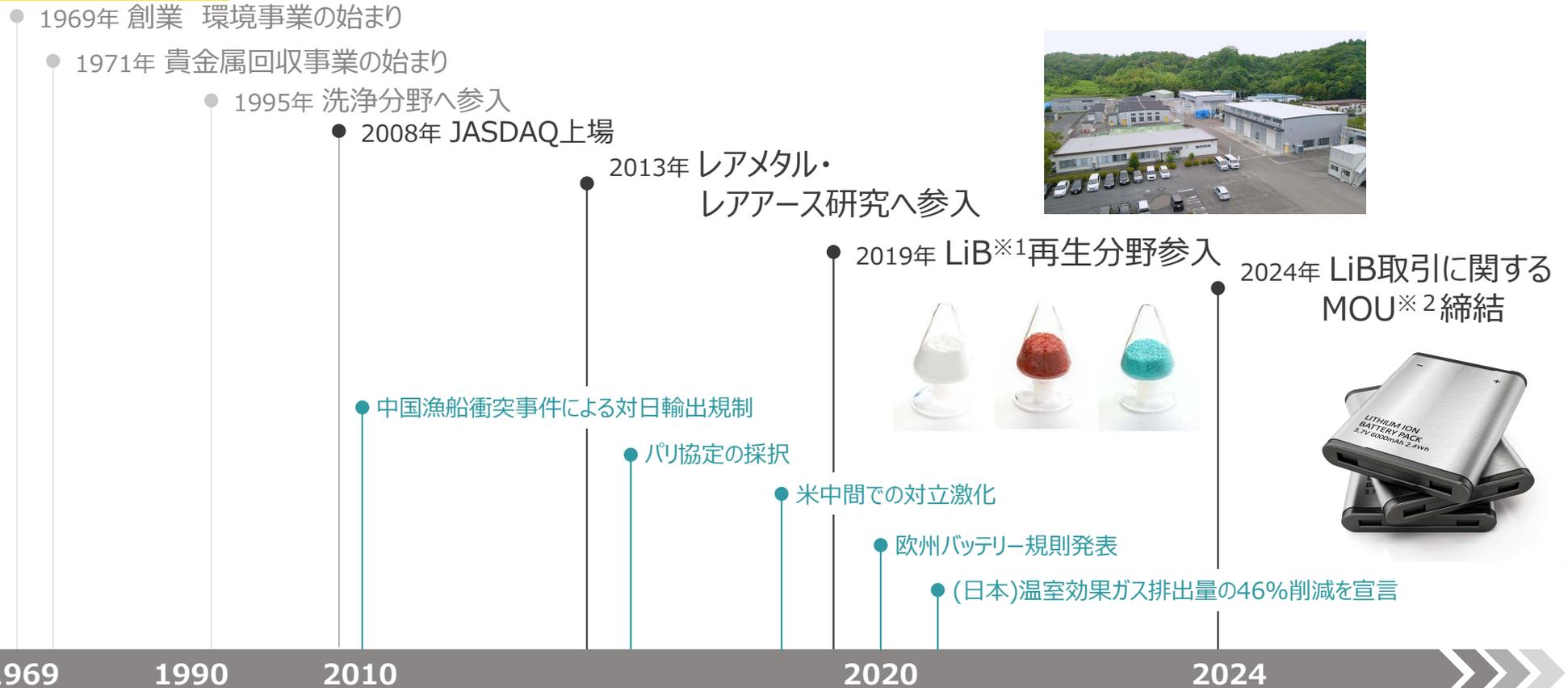
セグメント別利益（百万円）



# これまでの歩み



## 当社のムーブメント



1969 1990 2010 2020 2024

## 社会のムーブメント

- 高度経済成長期
- 社会問題の顕在化
- 循環型社会の形成促進
- 持続可能な社会形成へ  
 鉱物資源の安定供給が重要視され始めたほか、  
 国連で採択されたSDGsにて持続可能な生産消費社会が提唱される。

※1 LiB…Lithium-ion Battery  
 ※2 MOU…覚書

# 事業発展の下地



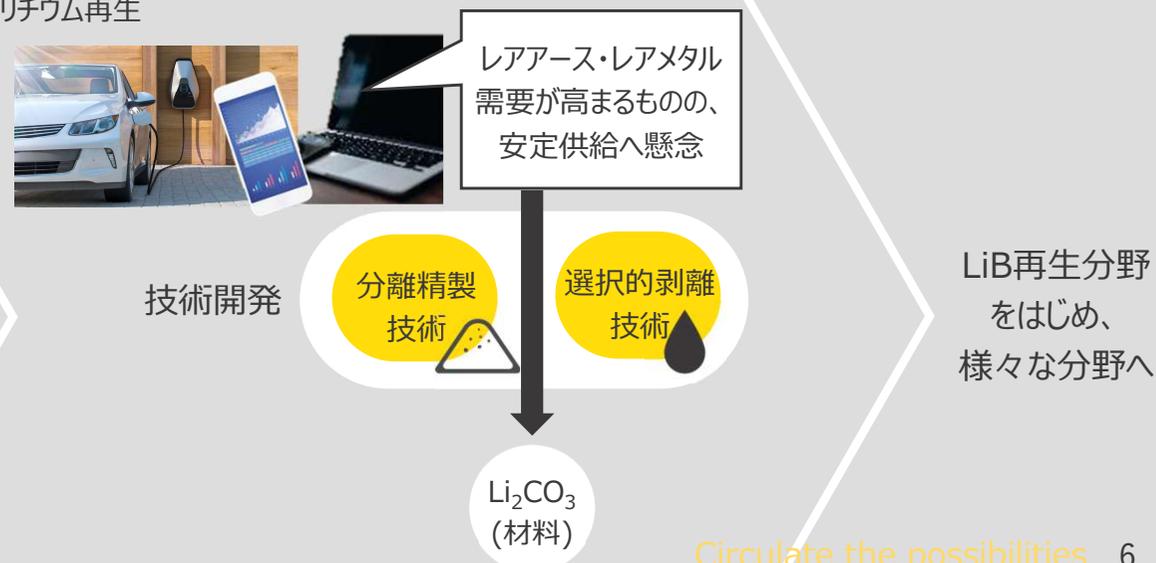
当社のフォーカスポイント



事例①  
精密洗浄事業



事例②  
リチウム再生



## 2. 長期ビジョン

Circulate  
the possibilities

## 長期ビジョンの背景



### 社会全体

- ・世界の資源採掘量が増加し、資源枯渇リスクが増大
- ・金属リサイクル原料のニーズが高まる
- ・労働人口の減少により、人手不足が加速

### 自然環境

- ・温室効果ガス排出による環境問題の悪化
- ・カーボンニュートラルに向けた原材料産業のCO<sub>2</sub>排出量削減が急務

### 市場環境

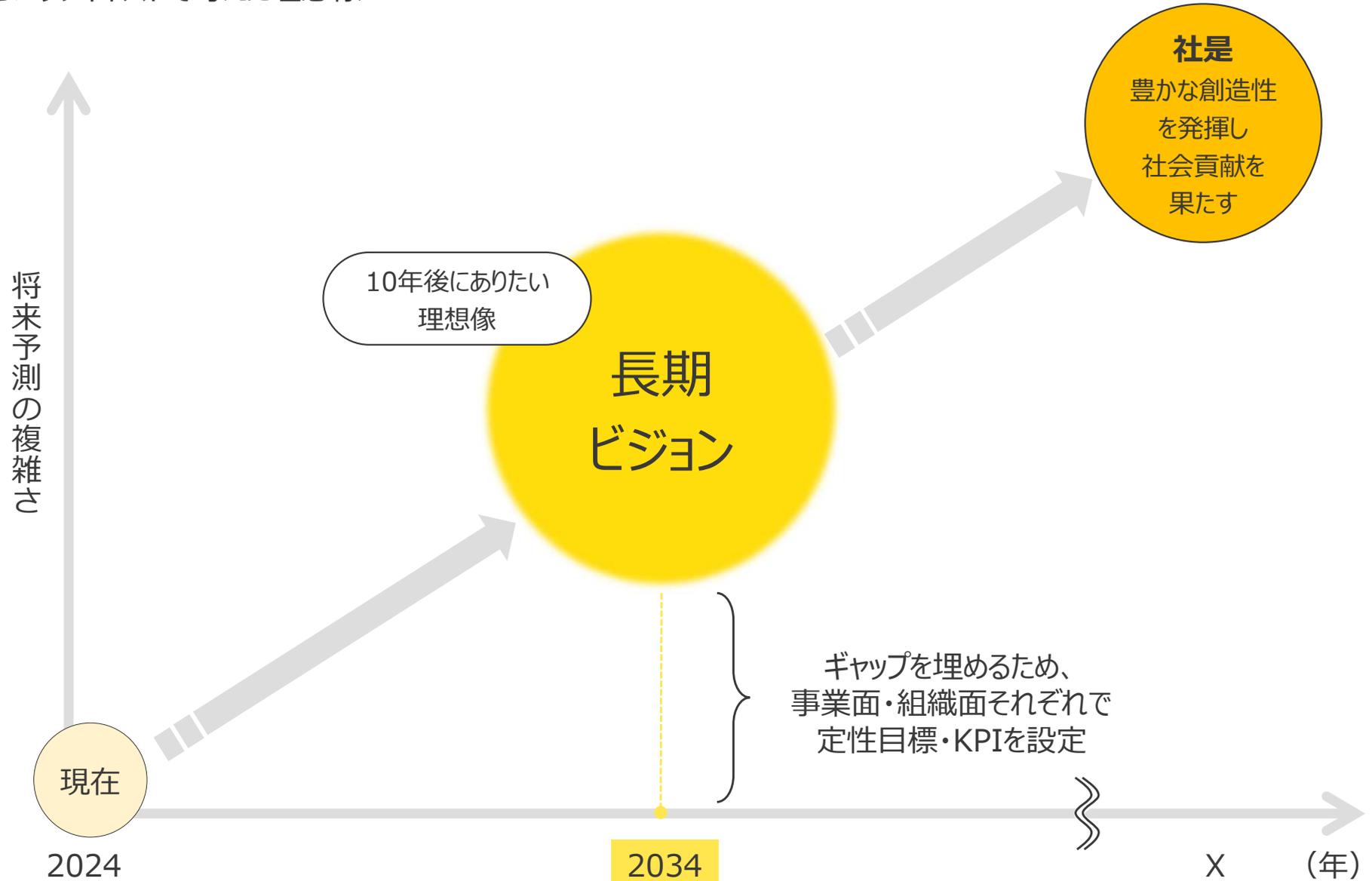
- ・金属相場：外的要因により変動し予測が困難
- ・顧客：生活基盤や生活様式のデジタル化、IT技術の発展等  
さまざまな要因により生産量変動

**予測がより困難になる将来でも、企業としての成長を目指していく**

# 長期ビジョンの位置づけ



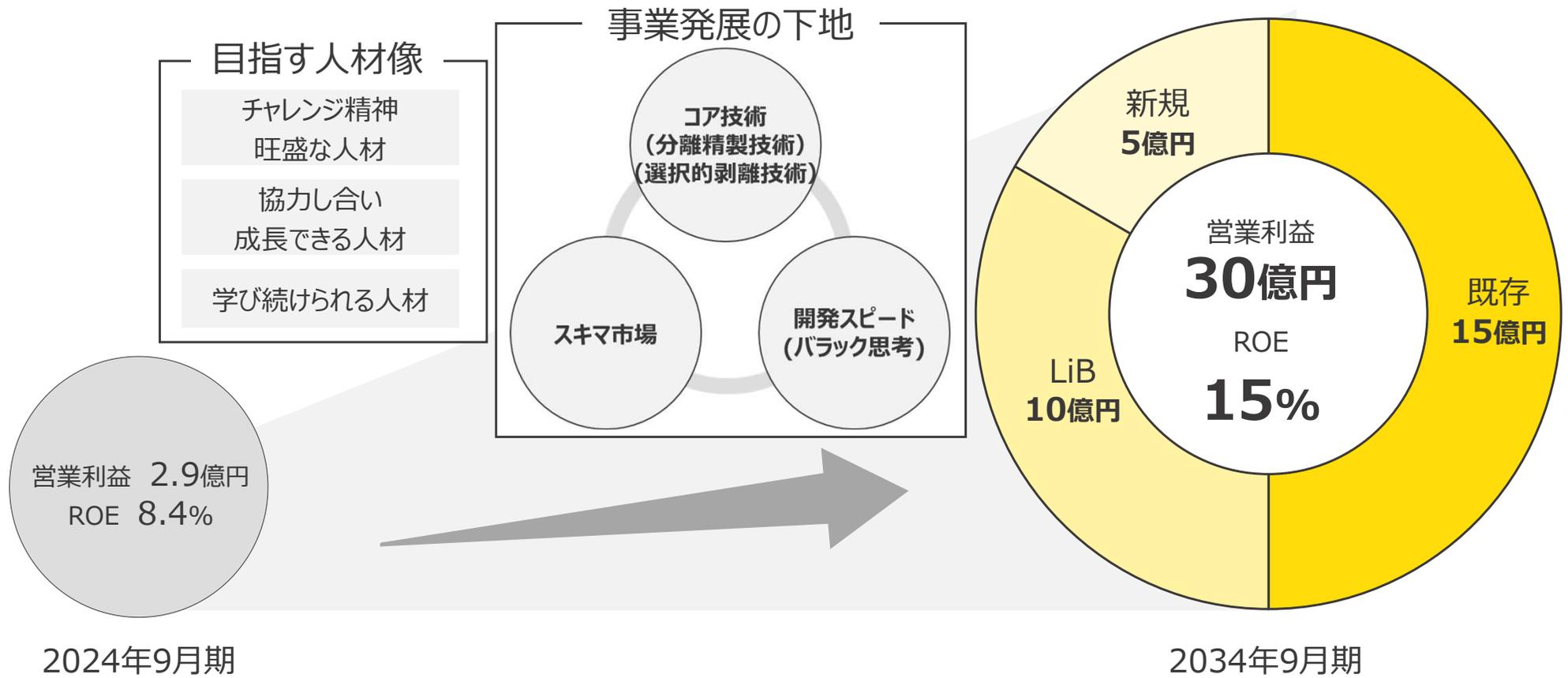
社是からバックキャストで考えた理想像



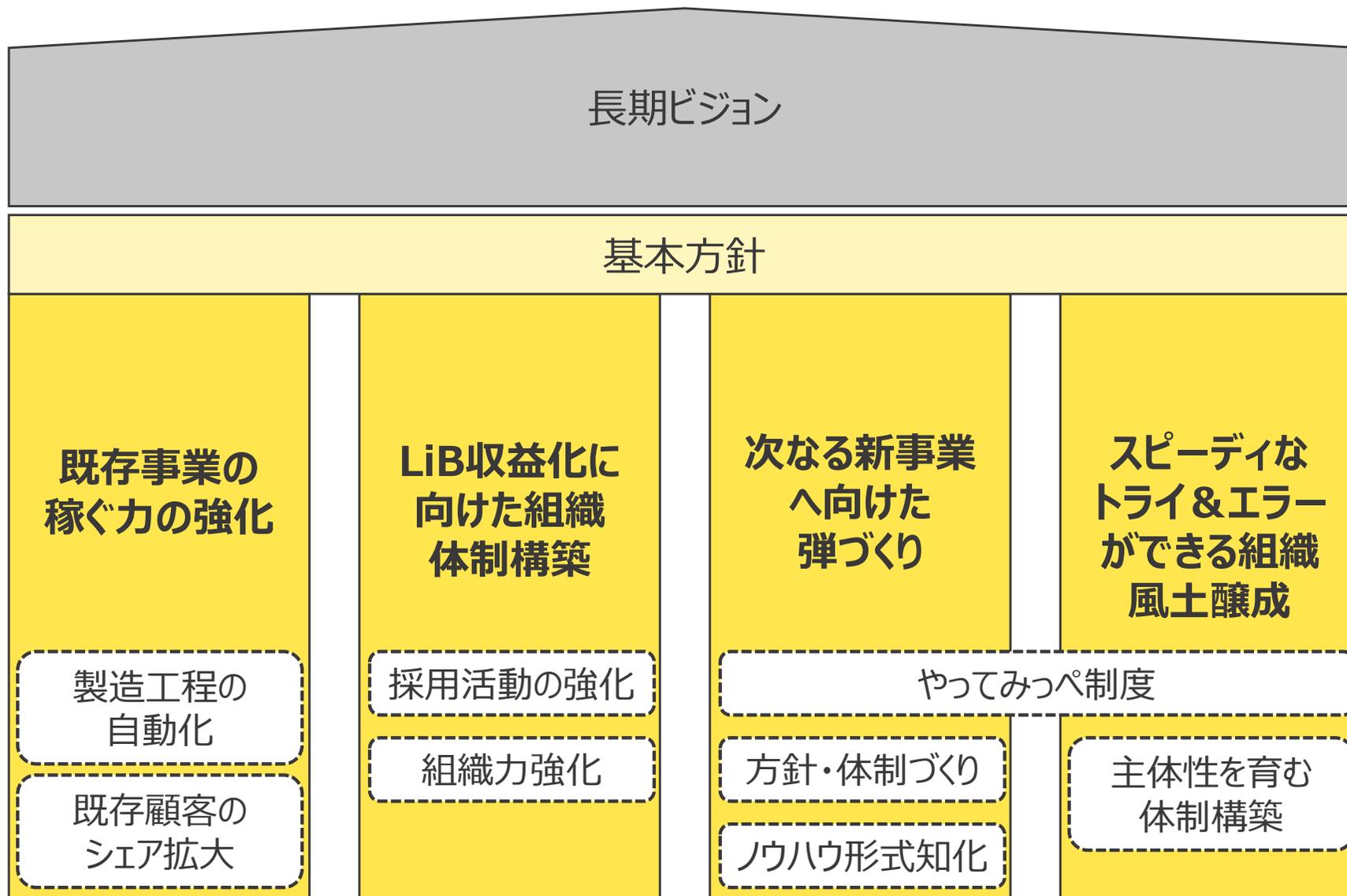
# 10年後にありたい理想像（事業面）



## 新たな挑戦を通じて 資源循環社会の実現に貢献できるNo.1企業



# 達成までの方針



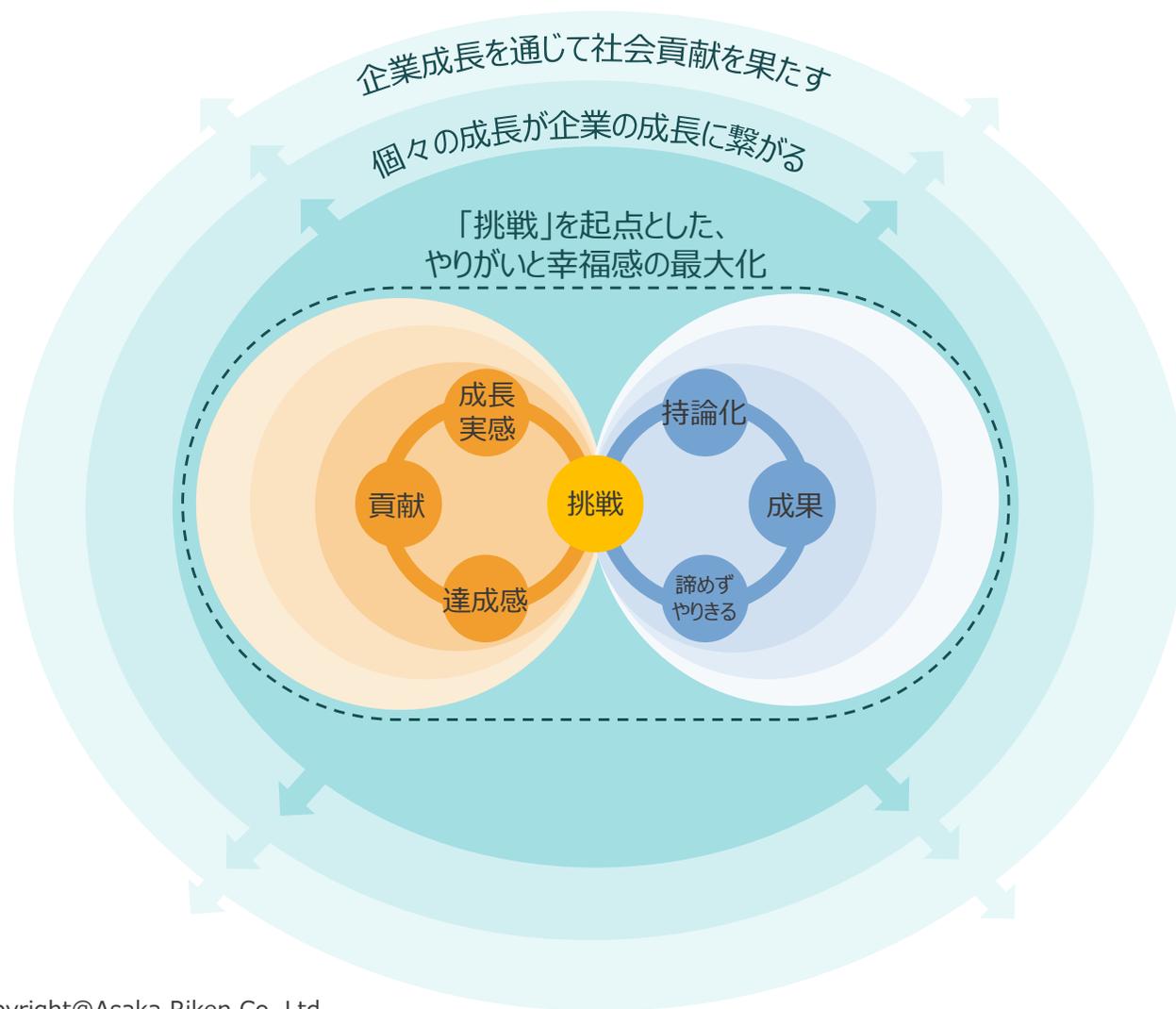
# コア技術の発展



強みである開発スピードの速さを活かしてコア技術の発展に挑戦し、付加価値をつけた製品としての提供を目指す



## やりがいと幸せを感じている組織



個人のやりがいと幸せを最大化する

企業の成長

社会・ステークホルダーへの貢献

# 3. LiB再生事業

Circulate  
the possibilities

# LiB再生事業のビジョン

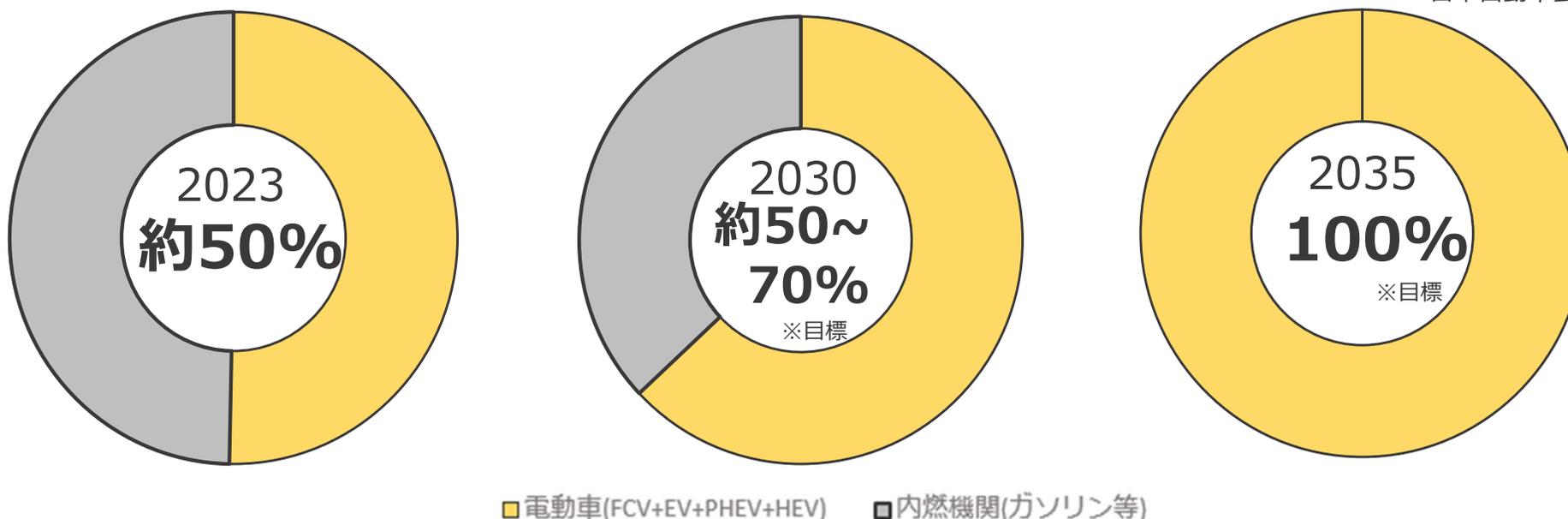


## 資源を取り巻く課題の解決

- CO<sub>2</sub>排出量の削減
- レアメタル資源枯渇の防止
- 鉱山開発による環境破壊の防止

国内自動車販売における電動車比率

出典：経済産業省  
日本自動車会議所



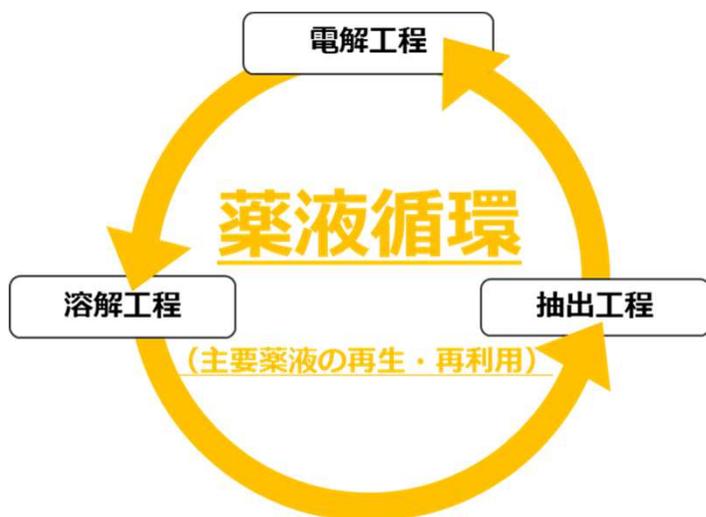
使用済みリチウムイオン電池(LiB) からレアメタルを回収し  
再びLiB原料とするスキーム (**水平リサイクル**) の構築を目指す

## 技術開発の大幅進捗(競争力の確保)

貴金属回収で培った技術を、LiBのレアメタル回収技術に応用

### 薬液循環工程

独自のLiBリサイクル技術



#### ① EU電池規則 回収率目標達成

2031年目標達成済



炭酸Li



水酸化Li

2027年目標達成済



硫酸Co



硫酸Ni

#### ② 環境負荷低減



CO<sub>2</sub>排出量低減



水資源循環  
排出量の削減



廃棄物の  
大幅削減

#### ③ 高品質の実現



鉱物由来資源と  
同等品質



EV長距離走行へ対応  
(LiBの高容量化)

#### ④ 処理コスト低減

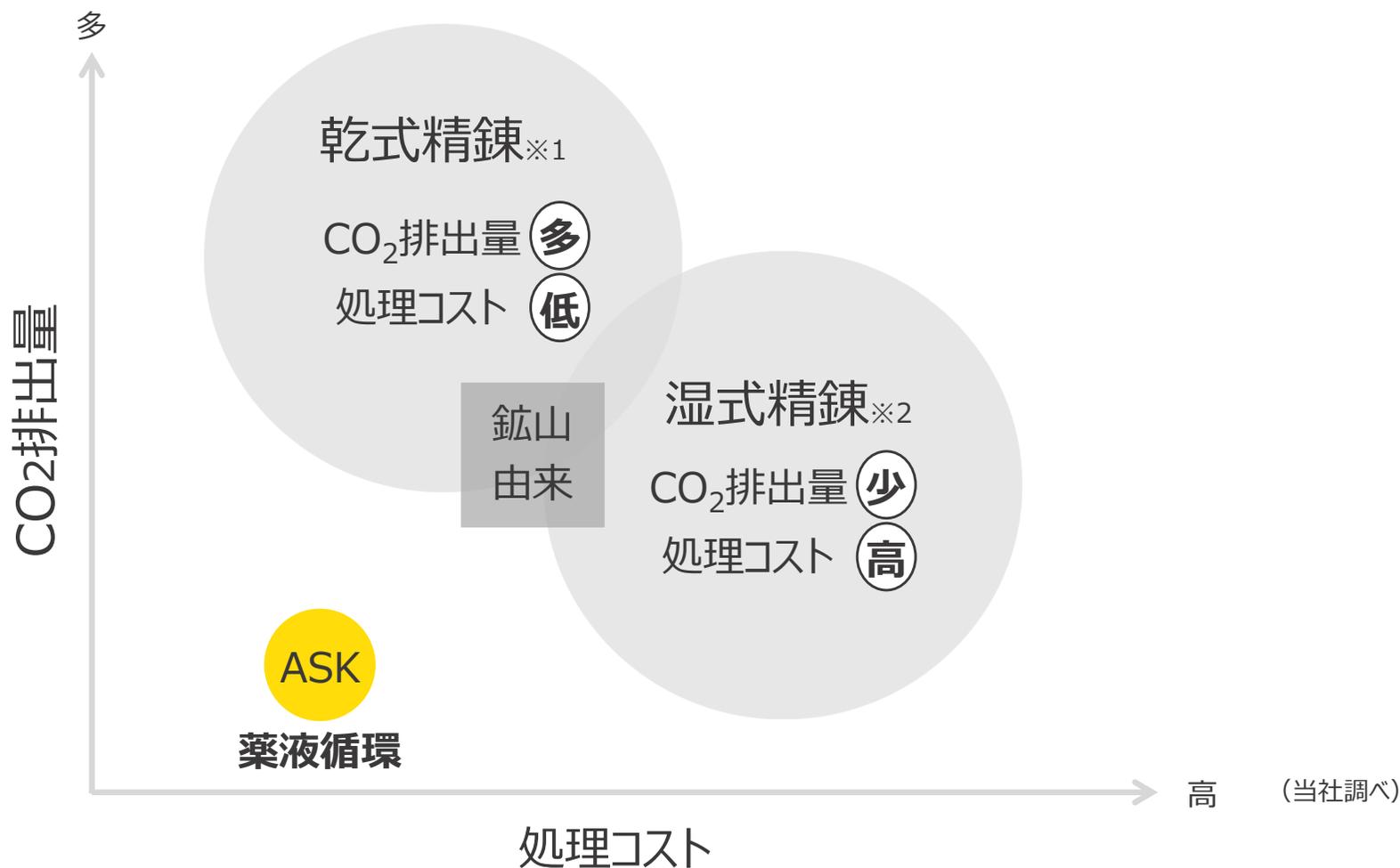


薬液を再生・再利用し薬液購入コストを削減

# 独自技術の強み



薬液循環工程は、他手法よりもCO<sub>2</sub>排出量が少ない・回収率が高く処理コストが低い



※1. 熱処理により電池材料から金属を抽出・分離する回収方法  
※2. 薬液を用いて、電池材料から金属を抽出・分離する回収方法

# LiB原材料の市場供給見通し



- LiB原材料は「**LiB工程廃材**」と「**使用済LiB**」の2つから発生
  - LiB工程廃材：LiB生産時に生じる端材など
  - 使用済LiB：廃棄後のEVから回収されるLiB（2030年代以降に増加見通し）
- 当社は**当面、LiB工程廃材を中心に取り扱い、使用済LiBは将来の市場**として対応

## 【LiB工程廃材の市場供給量】

- ・ 当社リサイクル最大処理量（EV台数換算）：**約1.5万台相当/年**
- ・ 2030年のLiB工程廃材の排出見込み：**約50～100万台相当/年**

※国内自動車メーカーの販売台数見込みから当社算定

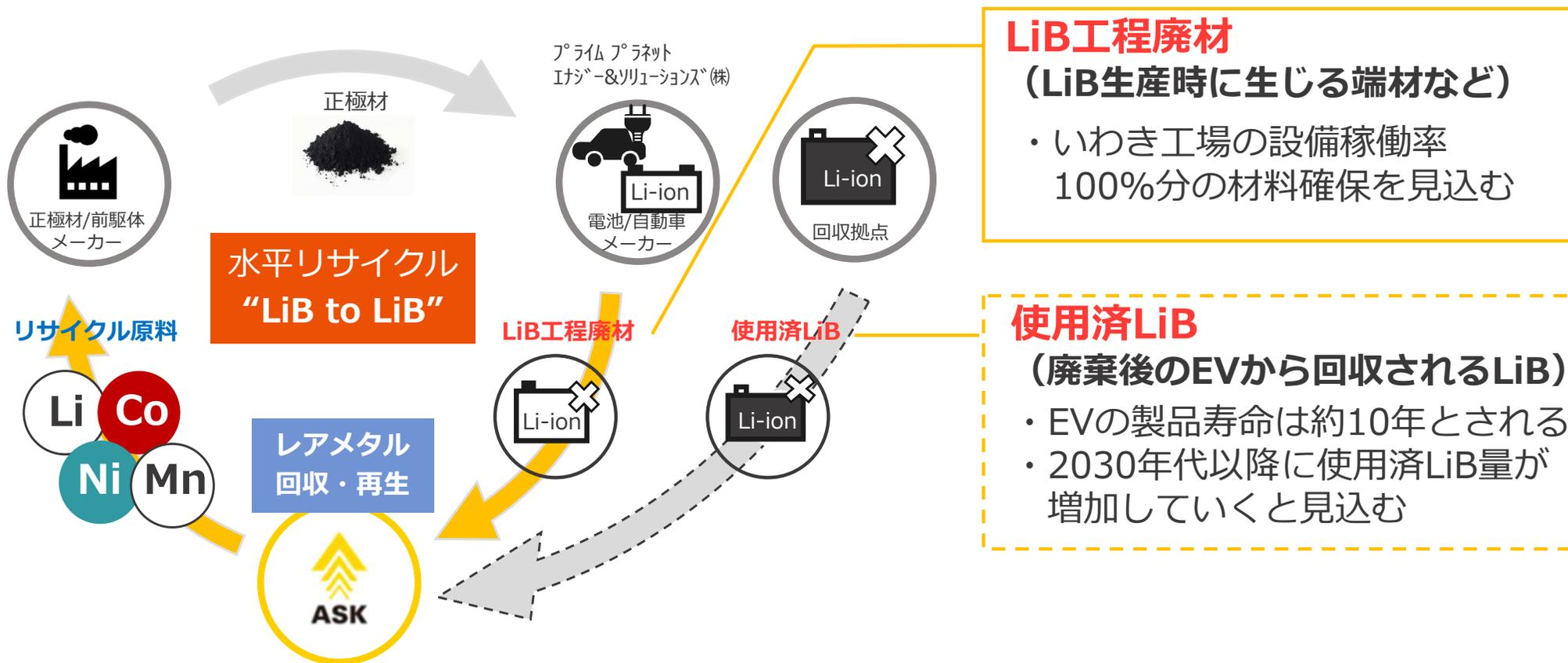


- ・ 当社が調達するLiB工程廃材は市場全体の一部
- ・ 量産稼働開始から材料確保  
今後も安定した調達が可能

# 水平リサイクルのビジネスモデル



## 域内でのリサイクル資源の循環体制を構築する



**LiB工程廃材**  
 (LiB生産時に生じる端材など)

- ・いわき工場の設備稼働率100%分の材料確保を見込む

**使用済LiB**  
 (廃棄後のEVから回収されるLiB)

- ・EVの製品寿命は約10年とされる
- ・2030年代以降に使用済LiB量が増加していくと見込む

リサイクル原料は鉱山で採掘した原料と比較し、  
**同等品質かつCO<sub>2</sub>排出量を少なく供給**

## バリューチェーン確立



### 大手電池メーカーとの提携(原料の確保)

**提携先：**プライムプラネットエナジー&ソリューションズ(株)

※トヨタ自動車(株) とパナソニックHD(株) の合併会社

**目的：**電池資源の国内リサイクルの実現及び国内リサイクル精錬の競争力向上

2023年

#### 共同開発契約の締結

- ・ CO<sub>2</sub>排出量を低減させるリサイクルプロセスを共同開発

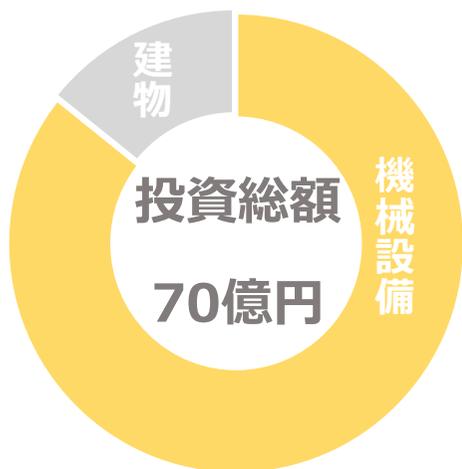
2024年

#### 覚書 (MOU)の締結

- ・ 同社工場で発生するLiB工程廃材(生産工程で発生する不良品等の一部)のリサイクルを当社が請け負う

LiBリサイクルのバリューチェーンを確立し、**市場優位性を獲得**

## 【投資内容】



- ・投資内容の大部分が生産能力に直結する機械設備

## 【資金調達手段】

シンジケートローン

60億円

※補助金つなぎ融資金含む

経済産業省補助金

約18億円

(予定)

福島県補助金

約2.3億円

(2024年3月受領)

2024年10月、追加設備投資を決定  
総投資額を**70億円へ増額**

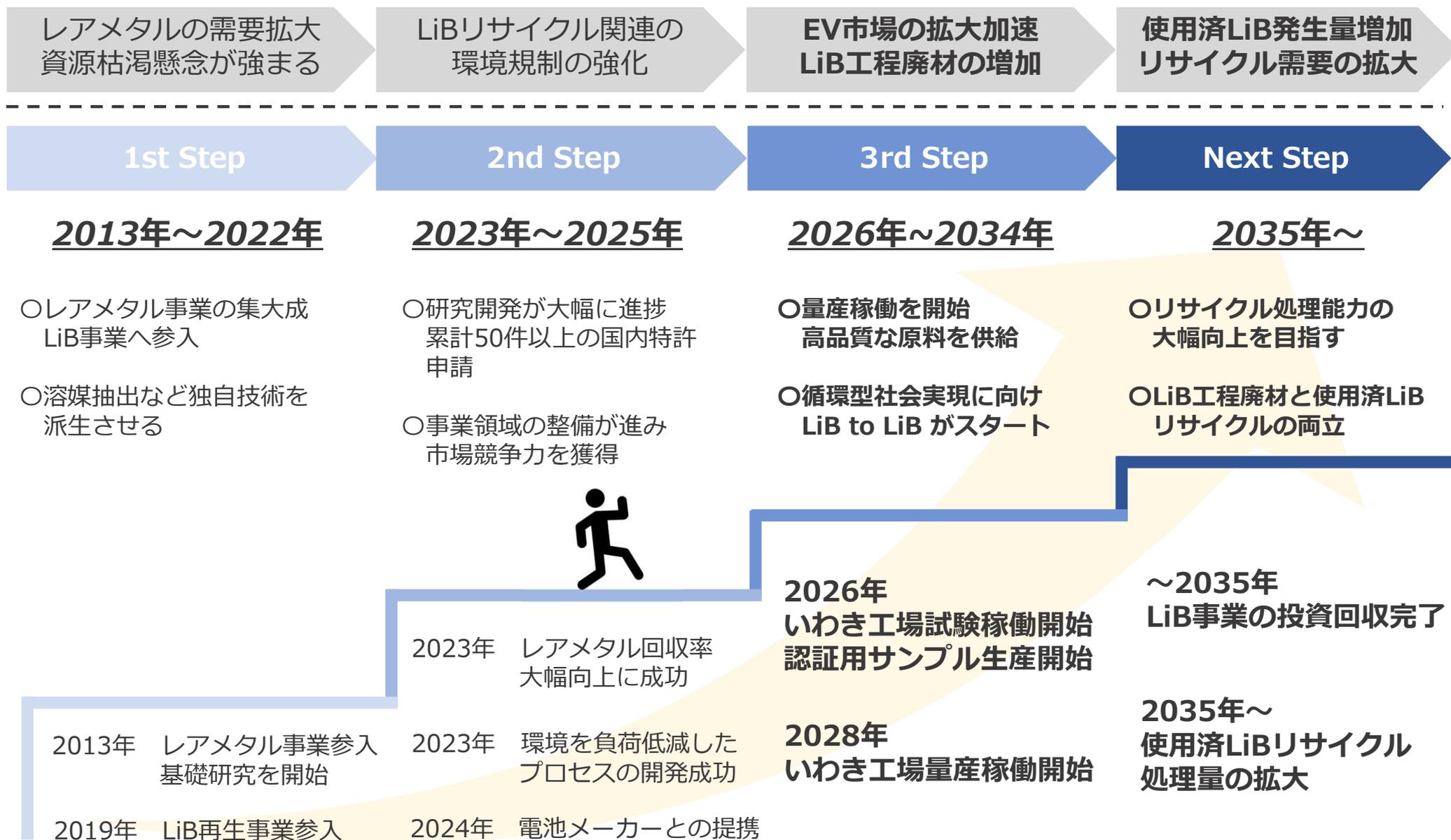


将来的に想定される環境規制の強化や顧客からの要求水準の高まりを見越しCO<sub>2</sub>排出量低減や回収率向上に早期に着手

経済産業省、福島県、金融機関よりEVのLiB循環サプライチェーン構築に寄与するものとLiB再生事業を評価いただく

### 3. LiB再生事業

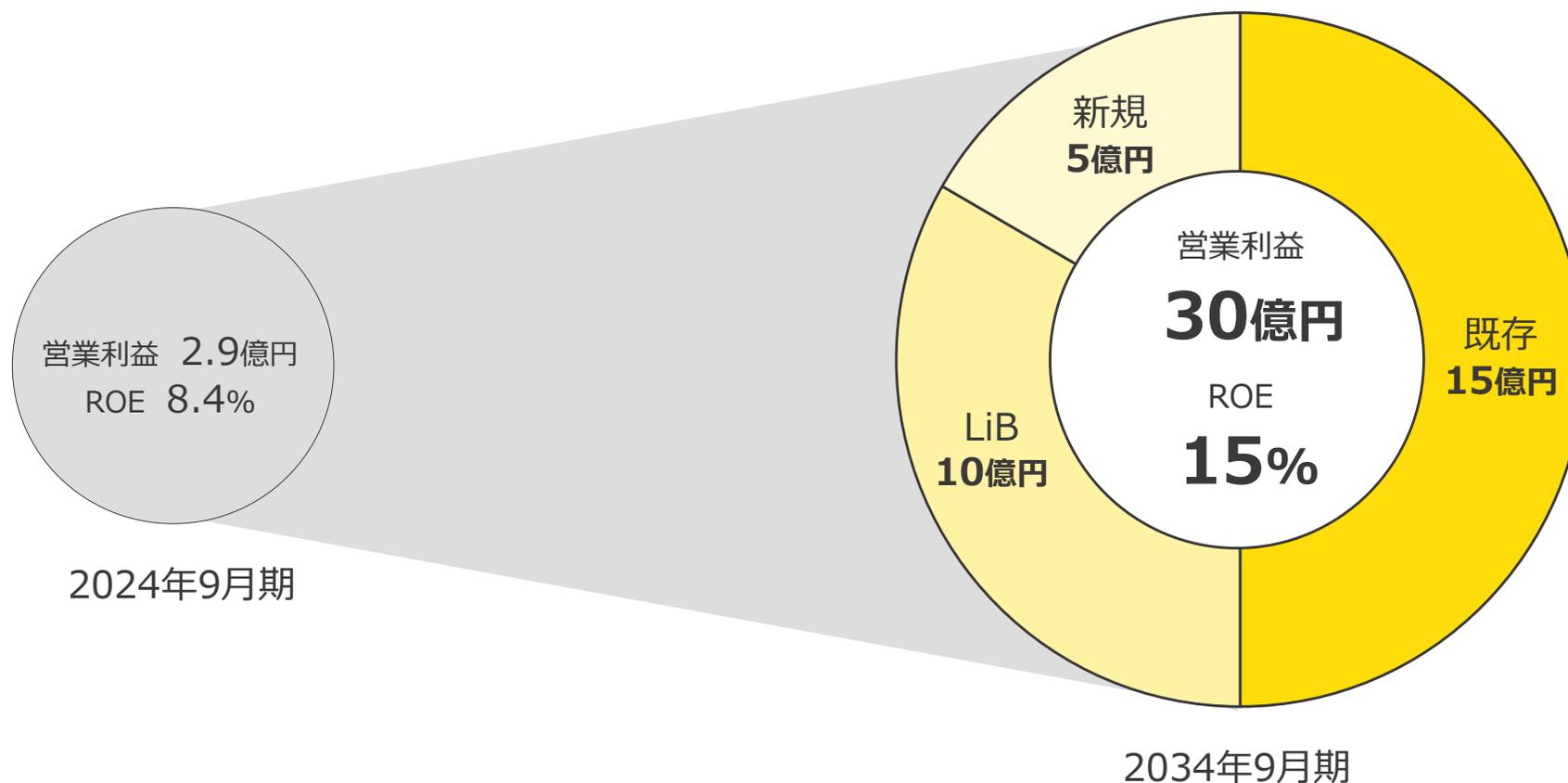
# ロードマップ



# 10年後にありたい理想像（事業面）



## 新たな挑戦を通じて 資源循環社会の実現に貢献できるNo.1企業



<IRに関するお問い合わせ先> 株式会社アサカ理研 管理本部 経営企画室  
〒963-0725  
福島県郡山市田村町金屋字マセ口47番地  
TEL : 024 (944) 4744 FAX : 024 (944) 4749  
E-MAIL : ir@asaka.co.jp  
URL : <https://www.asaka.co.jp/>



**ASK**

**株式会社アサカ理研**